

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)

【公開番号】特開 2011-60197 (P2011-60197A)

【公開日】平成 23 年 3 月 24 日 (2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報 2011-012

【出願番号】特願 2009-211911 (P2009-211911)

【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 7 D 9/00 4 0 8 E

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 8 日 (2012.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体と、

前記筐体内に設けられ、当該筐体内で紙幣を 1 枚ずつ搬送する搬送部と、

前記搬送部に設けられ、当該搬送部で搬送される紙幣を 1 枚ずつ識別する識別部と、

前記筐体内に設けられた複数の収納部であって、前記各収納部はそれぞれ前記搬送部に接続されており、前記各収納部は、前記搬送部から送られた紙幣を収納するとともに収納された紙幣を 1 枚ずつ前記搬送部に繰り出すような複数の収納部と、

前記搬送部および前記各収納部の制御を行う制御部であって、一の収納部から紙幣を 1 枚ずつ前記搬送部に繰り出し、繰り出された紙幣を前記一の収納部とは異なる空状態の他の収納部に 1 枚ずつ収納し、前記一の収納部に収納された紙幣が全て前記他の収納部に送られたときに、前記他の収納部から前記一の収納部に紙幣を戻し、前記一の収納部から前記他の収納部に紙幣を搬送する際にまたは前記他の収納部から前記一の収納部に紙幣を戻す際に前記識別部により紙幣の識別を行うような精査処理を行い、このような精査処理を行う間に前記他の収納部がフル状態となったときに、残りの紙幣を空状態の更に他の収納部に送るよう制御を行う制御部と、

を備えたことを特徴とする紙幣処理装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記精査処理を行う間に前記他の収納部がフル状態となったときに、残りの紙幣を空状態の更に他の収納部に送り、前記一の収納部に収納された紙幣が全て前記他の収納部または前記更に他の収納部に送られたときに、前記他の収納部および前記更に他の収納部から前記一の収納部に紙幣を戻すよう制御を行うことを特徴とする請求項 1 記載の紙幣処理装置。

【請求項 3】

前記複数の収納部には、前記筐体の外部から内部に投入され前記識別部により識別された紙幣が一時的に保留される一時保留部が含まれており、

前記制御部が前記精査処理を行う際に前記一時保留部は前記他の収納部として用いられるようになっていないことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の紙幣処理装置。

【請求項 4】

前記複数の収納部には、前記筐体の外部から内部に紙幣を投入するための投入口が含ま



れており、

前記制御部が前記精査処理を行う際に前記投入口は前記更に他の収納部として用いられるようになっていくことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の紙幣処理装置。

【請求項 5】

前記複数の収納部には、前記識別部により正常な紙幣であると識別された紙幣以外の紙幣であるリジェクト紙幣が搬送されるリジェクト部が含まれており、

前記制御部が前記精査処理を行う際に前記リジェクト部は前記更に他の収納部として用いられるようになっていくことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の紙幣処理装置。

【請求項 6】

前記制御部は、前記精査処理が行われる前において前記一の収納部に収納されている紙幣の枚数が所定枚数以上である場合には、前記精査処理を行う際に、予め設定された枚数の紙幣を前記更に他の収納部に送るよう制御を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の紙幣処理装置。

【請求項 7】

前記制御部は、前記精査処理を行う際に、前記一の収納部に紙幣を戻す間に当該一の収納部がフル状態となったときに、残りの紙幣を前記更に他の収納部に送るよう制御を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の紙幣処理装置。

【請求項 8】

前記複数の収納部には、複数の金種の紙幣を混合して収納する金種混合収納部が含まれており、

前記制御部は、前記精査処理を行う際に、前記一の収納部に紙幣を戻す間に当該一の収納部がフル状態となったときに、残りの紙幣を前記金種混合収納部に送るよう制御を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の紙幣処理装置。

【請求項 9】

前記複数の収納部には、複数の金種の紙幣を混合して収納する金種混合収納部が含まれており、

前記制御部は、前記精査処理を行う際に、前記一の収納部に紙幣を戻す間に当該一の収納部がフル状態となったときに、残りの紙幣を前記更に他の収納部に送り、その後、前記更に他の収納部から前記金種混合収納部に紙幣を全て送るよう制御を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の紙幣処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、筐体と、前記筐体内に設けられ、当該筐体内で紙幣を 1 枚ずつ搬送する搬送部と、前記搬送部に設けられ、当該搬送部で搬送される紙幣を 1 枚ずつ識別する識別部と、前記筐体内に設けられた複数の収納部であって、前記各収納部はそれぞれ前記搬送部に接続されており、前記各収納部は、前記搬送部から送られた紙幣を収納するとともに収納された紙幣を 1 枚ずつ前記搬送部に繰り出すような複数の収納部と、前記搬送部および前記各収納部の制御を行う制御部であって、一の収納部から紙幣を 1 枚ずつ前記搬送部に繰り出し、繰り出された紙幣を前記一の収納部とは異なる空状態の他の収納部に 1 枚ずつ収納し、前記一の収納部に収納された紙幣が全て前記他の収納部に送られたときに、前記他の収納部から前記一の収納部に紙幣を戻し、前記一の収納部から前記他の収納部に紙幣を搬送する際にまたは前記他の収納部から前記一の収納部に紙幣を戻す際に前記識別部により紙幣の識別を行うような精査処理を行い、このような精査処理を行う間に前記他の収納部がフル状態となったときに、残りの紙幣を空状態の更に他の収納部に送るよう制御を行



う制御部と、を備えたことを特徴とする紙幣処理装置である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の紙幣処理装置においては、前記制御部は、前記精査処理を行う間に前記他の収納部がフル状態となったときに、残りの紙幣を空状態の更に他の収納部に送り、前記一の収納部に収納された紙幣が全て前記他の収納部または前記更に他の収納部に送られたときに、前記他の収納部および前記更に他の収納部から前記一の収納部に紙幣を戻すよう制御を行うようになっていてもよい。

また、本発明の紙幣処理装置においては、前記複数の収納部には、前記筐体の外部から内部に投入され前記識別部により識別された紙幣が一時的に保留される一時保留部が含まれており、前記制御部が前記精査処理を行う際に前記一時保留部は前記他の収納部として用いられるようになっていてもよい。